



東京2020パラリンピック聖火リレー

それぞれの想いをつなぎ、一つとなった千葉県火

この日を歓迎するかのような晴天となった8月18日。千葉県において「東京2020パラリンピック聖火リレー千葉県聖火フェスティバル（採火式・集火式・点火セレモニー・出立式）」が実施されました。



▲千葉県集火式（山武地域の集火の様子）

採火式に臨んだ皆さんからは「時間内に火を起こせるかという不安と緊張の中、最後まで諦めずにみんなで頑張った」「みんなの想いが届き最終的に火が起こせてうれしかった」などといった声が聞かれました。

芝山町採火式

福祉センターやすらぎの里で実施された「芝山町採火式」。聖火リレーでつなぐ火をつくる重要なトップバッターとして、芝山町福祉作業所に通う皆さんがマイギリ式により火を起こし採火しました。慣れない作業に苦戦しながらも懸命に取り組み、一人一人の想いが込められた「芝山町の火」は、集火会場となる市原市へとつなげられました。

千葉県集火式

市原市（市原スポーツパーク）に集結した県内54市町村で採火された「市町村の火」。集火式において、地域ごとに分かれて順番にステージ上の集火台に集められ、たくさんの想いがつまった一つの大きな火となりました。

この火は「千葉県の火」として、聖火ランナーの待つ千葉県へとつなげられました。

千葉県点火セレモニー・出立式

千葉県の火が届けられた千葉市（千葉ポートタワー前広場）。新型コロナウイルスの影響で公道での聖火リレーが中止となった千葉県では、聖火ランナーの皆さんがトーチキスで聖火皿に聖火をつなぐ「点火セレモニー」が実施されました。このセレモニーには聖火ランナーに選出された生駒三男さん（芝山町在住）も参加され、笑顔で聖火をつなぎました。

そして、聖火ランナーの皆さんの手によってつながれた「千葉県の火」は、出立式において開催都市である東京都に送り出されました。



芝山町採火式の様子

①火起こしの様子②火種③ランタンに灯された「芝山町の火」
④福祉作業所の皆さん